

2012年8月22日

報道関係各位

吉祥寺南口駅前地区再開発準備組合
財団法人首都圏不燃建築公社
三菱地所レジデンス株式会社

駅前交通広場整備、商業施設・公共公益施設・共同住宅等の複合施設開発 市街地再開発事業「吉祥寺南口駅前地区再開発計画」始動

吉祥寺南口駅前地区再開発準備組合（2012年3月設立、理事長：浜名康一）は、武蔵野市吉祥寺南町一丁目の一部他（以下「吉祥寺南口駅前地区」）の再開発計画につき、事業協力者として財団法人首都圏不燃建築公社、三菱地所レジデンス株式会社を選定し、具体的な計画策定に着手したことをお知らせします。

本再開発計画は、吉祥寺南口駅前地区約0.65haの区域に商業施設、公共公益施設、共同住宅等の複合施設を建設するとともに、駅前交通広場の整備を行い、歩行者とバスで混雑する吉祥寺駅南口周辺を再整備し、新たな賑わいを創出するものです。

本再開発計画の総合コーディネーターは株式会社新都市開発機構、株式会社日本設計が担当し、都市計画・施設計画コンサルタントは株式会社日本設計が担当します。また、商業施設の計画は三菱地所株式会社の協力のもと、三菱地所レジデンス株式会社が担当します。

今後、都市計画決定、再開発組合設立を経て、4～5年後の着工を目指して関係各所と協議を行いながら、再開発事業を進めてまいります。

■ 吉祥寺南口駅前地区再開発準備組合 浜名 康一理事長のコメント

現在、吉祥寺は大きな転換期に来ており、南口についても多くの問題点を抱えております。中央線随一のバス路線数を抱える駅でありながら、南口においては駅前広場機能を持たず、来街者にとって安心安全な歩行者動線が確保されていない状況であり、その結果として、吉祥寺の魅力の元といわれる回遊性に問題が生じています。また、南口駅前エリアは、土地利用が細分化され、かつ老朽化した建物が密集しており、防災上の問題がある上、吉祥寺の大切な財産である井の頭公園を生かしたまちづくりが十分に行われていないと思います。

吉祥寺が将来的にわたって輝き続け、この街の進化を皆様とともに作り上げていく為にも、これら南口駅前地区の問題点を解決し、近隣にお住まいの方々や街に来られる方の安全、安心、利便性、楽しさ等、多面的な向上を図れるようなまちづくりをぜひとも実現していきたいと考えております。

権利者および周辺の皆様、更に行政の方々のご協力・ご支援の程、宜しくお願い致します。

■ 想定事業概要

- ・事業区域：武蔵野市吉祥寺南町一丁目1番の一部他
- ・区域面積：約0.65ha
- ・施設用途：商業施設、公共公益施設、共同住宅等
- ・総合コーディネーター：株式会社新都市開発機構、株式会社日本設計
- ・都市計画・施設計画コンサルタント：株式会社日本設計
- ・事業協力者：財団法人首都圏不燃建築公社、三菱地所レジデンス株式会社

以上